

2023 春合宿 猫又山

5/3・4・5 メンバー 吉田(秀) 吉田(文)佐藤 嘉村 梶山

5/3 晴れ 10時 桐生出発 ～上市で夕飯の買い物～ 17時 馬場島着 キャンプ場泊

5/4 晴れ 無風 5時起床～6:40 登山開始ー山菜採取&談笑しながら林道を歩く～7:30 大ブナグラ谷出合～12:20 大猫平
事前情報では「賞味期限切れギリギリの雪渓」と聞いていた。

第1号堰堤には雪渓なく、高巻き、その後も何度か雪が無く、高巻き(1050m 付近)、尾根から雪渓に降りる際に補助ロープを使う。その後アイゼンを取り付け行動。

標高が上がる度に勾配がきつくなる。

久しぶりの重い荷物、借り物のザックが身体に合わず難儀する。何よりも普段の運動不足を感じる…

やっとの思いで大猫平に着く。テント場で寝転び、剣岳を眺めながらのんびり過ごす。(絶景のテント場)

(大ブナグラ谷出合から1号堰堤) (大ブナグラ谷登り) (大猫平)



5/5 晴れ 無風 3時 起床～4:50 登山開始、凍った雪面はアイゼンが突き刺さり心地良い。

大猫山稜線まで急登、雪の途切れ箇所は夏道や藪こぎで通過。稜線までたどり着くと景色は一転、平らな雪稜の向こうにめざす猫又山がそびえ立つ。登りかけてきた朝日に向かい歩く～5:50 大猫山通過～7:30 猫又山登頂

(大猫山稜線の急登)

(稜線から猫又山を臨む)



(猫又山山頂)

7:50 猫又山出発 すでに雪面は緩み始めていた。

9:00 大猫山通過～9:50=10:10 猫平テント場着 テント撤収、下山
雪が緩んでいるので気軽な下り、雪渓の下部は状態悪く、前日通過した雪渓やスノーブリッジが崩壊している箇所があり、出合までは気が抜けず、林道に出てホッとす。馬場島手前1キロほどに林育夫氏(昭和52年1月、小窓尾根で遭難した)の石碑を見つける。合掌。

14:00 馬場島着 終始、剣岳を眺めながらの登山、若い頃幾度となく登った思いを馳せる。メンバーの皆さん、楽しい山行ありがとうございました。

